

今後の取組について

日田市林業振興課
令和3年9月24日

令和3年度森林環境譲与税を財源とした事業一覧（現行予算）

番号	事業名	譲与税充当額	使途区分
1	森林経営管理推進事業	46,882千円	①森林整備
2	森林整備総合対策事業	45,000千円	①森林整備
3	森林機能強化対策事業	5,200千円	①森林整備
4	林道巡視維持改善事業	3,550千円	①森林整備
5	林道維持補修事業	15,000千円	①森林整備
6	林道作業道補修用原材料支給事業	40,000千円	①森林整備
7	豊かな森づくり担い手育成事業	4,671千円	②人材育成・担い手確保
8	日田材普及啓発事業	5,960千円	③木材利用の促進
9	木の香るまちづくり事業	3,740千円	③木材利用の促進
10	市民参加の森づくり事業	639千円	④普及啓発
11	木育推進事業	2,874千円	④普及啓発
12	森林・林業・木材産業に関する市民参加イベント・講座	2,000千円	④普及啓発
	■令和3年度森林環境譲与税額：176,293千円	小計：175,516千円	（留保額：777千円）
累計	■令和元～3年度森林環境譲与税額：435,558千円	合計：356,688千円	留保額：78,870千円 →森林整備、木材利用に活用

令和3年度森林環境譲与税を財源とした取組

(単位：千円)

事業名	1. 森林経営管理推進事業	当初予算額（譲与税充当額）	46,882
<p>【事業内容】 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を目的とする「森林経営管理法」が令和元年度から開始されたことに伴い、森林環境譲与税を活用して未整備森林の把握や現地調査、森林経営に係る意向調査等を行うとともに、未整備森林の解消に向けた森林整備や路網整備への支援を行うもの。</p> <p>①未整備森林GISデータ整備業務 大分県がR2に実施した航空レーザ計測による森林資源解析結果を活用し、市北部区域のゾーニング(林業経営に適する・適さない森林の判定等)や意向調査の優先順位付け等を市南部区域と同一基準により行う。さらに、市が認定する森林経営計画対象森林のデータ整備等を計画的に行うことで、未整備森林を効率的・効果的に把握し、森林整備に活用していく。委託料21,605千円</p> <p>②未整備森林調査業務 森林資源解析結果を活用しながら、必要に応じて現地踏査による森林の生育状況や路網整備状況の調査、経営管理方法(施業種、実施期間等)の提案等を行う。委託料5,324千円</p> <p>③意向調査実施事業 未整備森林区域内(林班単位)の森林所有者に対し、今後の森林の経営管理についての意向を調査。</p> <p>④森林路網整備補助事業(新規) 未整備森林区域内(林班単位)の意向調査結果等を踏まえ、林業専用道や森林作業道等への整備助成。補助金16,500千円</p> <p>⑤日田市森林整備推進連絡協議会の開催（委員：17名） 森林経営管理法に基づく森林整備や森林環境譲与税を活用した取組とその推進等に関して情報共有を図るとともに、必要な事項についての助言等を行うもの。</p> <p>⑥市町村森林経営管理業務 市が経営管理を実施することとなる森林の整備。</p> <p>⑦先進地視察 先進的な取組事例を参考とするため、他自治体への視察を実施。</p>			

令和3年度森林環境譲与税を財源とした取組

(単位：千円)

事業名	2. 森林整備総合対策事業	当初予算額（譲与税充当額）	45,000				
<p>【事業内容】 森林の整備を進めるため、国や県の公共造林事業等による再造林や間伐、路網整備等の森林整備事業を対象に市の補助金を上乗せして交付し、森林所有者の負担軽減を図るもの。R2年度からの森林環境譲与税の前倒し増額譲与を受け、公共造林（切捨間伐、下刈、シカネット：木材収益のないものに限る）について、譲与税を財源に市の上乗せ補助を実施。</p>							
◎補助率		◎事業量見込み					
区分	国	県	計				
植栽（再造林）	51%	17%	5～15%	10～15%	83～93%		
間伐			8%	24%	100%		
			0～5%	0～13%	68～86%		
大山ダム 水源林			8%	24%	100%		
			5%	22%	95%		
下刈			—	27%	95%		
シカネット			5%	22%	95%		
路網整備			—	8%	76%		
区分			事業量	概算経費（千円）	市補助金（千円）		
植栽（再造林）	150ha	128,829	14,500				
切捨間伐	148ha	28,504	6,570				
搬出間伐	377ha	198,807	20,130				
下刈	631ha	122,925	34,200				
シカネット	25,000m	21,780	4,800				
路網整備	38,000m	65,292	5,300				
計			85,500				

切捨間伐、下刈、シカネットの補助45,570千円に45,000千円を充当

(単位：千円)

事業名	3. 森林機能強化対策事業	当初予算額（譲与税充当額）	5,200
<p>【事業内容】 地域の防災拠点や重要インフラ施設、周辺森林のうち、整備が不十分のため防災機能に支障をきたす恐れのある森林整備について、地域が自ら行う整備に対して支援するもの。</p> <p>整備内容：支障木・危険木の除去、伐竹、不良木伐採、枝落としなど 事業主体：防災拠点や重要インフラ施設の管理者、自治会、地域団体など ※地域の防災拠点や重要インフラ施設例（学校、自治公民館、公衆用道路のほか防災避難路となる里道等、福祉施設など） 補助率：10/10</p>			

令和3年度森林環境譲与税を財源とした取組

(単位：千円)

事業名	4. 林道巡視維持改善事業	当初予算額（譲与税充当額）	3,550
<p>【事業内容】 未整備森林の整備に必要な林道の維持改善を実施するために、路面等の状況について市内の林道を1路線ごと巡視することで、林道150路線の状況把握を行い、林道の維持改善を計画的に実施する。あわせて、雑草等で通行が困難な箇所については、草刈りや小規模な落石除去などの軽作業を行う。</p> <p>委託内容：2人1組、月15日、9時～16時、林道パトロールにより補修必要箇所の確認、草刈り等の軽作業の実施。 委託先：日田市シルバー人材センター 事業費：3,550千円</p>			

(単位：千円)

事業名	5. 林道維持補修事業	当初予算額（譲与税充当額）	15,000
<p>【事業内容】 林道は、間伐など適正な森林の保育管理や林業経営の基盤となる重要な施設であるとともに、通行の安全確保と森林へのアクセスを容易にし、林業振興と地域住民の生活環境の向上を図る上で重要であるため、林道の維持管理及び補修等を行う。</p> <p>林道維持補修工事費：15,000千円</p>			

(単位：千円)

事業名	6. 林道作業道補修用原材料支給事業	当初予算額（譲与税充当額）	28,000→40,000
<p>【事業内容】 林道・作業道において、縦断勾配の大きい箇所や路面洗掘の著しい箇所等へ、生コンクリート、碎石、目地材の資材を提供し、地元施工により林道・作業道の路面補修を行うもの。</p> <p>原材料費：28,000千円（生コン30^m、碎石、目地材）→生コン単価 約1.6倍の増に伴い、9月補正後予算：40,000千円 ・支給要件(幅員 2.5m以上 舗装厚 12cm 1路線50m程度)</p>			

令和3年度森林環境譲与税を財源とした取組

(単位：千円)

事業名	7. 豊かな森づくり担い手育成事業	当初予算額（譲与税充当額）	4,671
<p>【事業内容】 森林環境譲与税を活用し、担い手の確保・育成を行うため、社会保険料等の一部助成や安全対策、林業就業希望者に対する支援やキャリアアップに対する奨励金の給付を行うもの。</p> <p>○職員雇用安定推進事業（福利厚生費・共済費等の助成） 事業費：12,907千円（うち譲与税充当額115千円）</p> <p>○林業研修支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高年移住推進給付金 業務内容：UIJターンによる林業就業を促進するため、アカデミー研修生（国給付金1,375千円/年の対象外45～55歳）に対し、安心して研修に専念できるよう給付金(500千円/年)支給。加えて、県が500千円支給し、合計1,000千円給付 事業費：525千円（譲与税充当額） ・アカデミー研修生への交通費助成（日額1,000円） 事業費：600千円（譲与税充当額） <p>○林業労働者安全対策事業（林業事業者等に対する助成：補助率1/2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護衣(上限9千円)・安全靴(上限3千円)の購入に対する助成 事業費：840千円（譲与税充当額） ・空調服・空調ヘルメットの購入に対する助成 事業費：1,661千円（うち譲与税充当額831千円） <p>○林業就業者奨励金事業</p> <p>業務内容：国が実施するフォレストリーダー（FL：林業就業5年以上対象）又はフォレストマネージャー（FM：就業10年以上対象）の研修修了者に対し、林業就業定着支援奨励金を支給。 FL（現場管理責任者）100千円、FM（統括現場管理責任者）150千円 事業費：950千円（譲与税充当額）</p> <p>○造林作業新規参入者育成支援事業（造林作業(地拵え、植栽等)の新規就業者に対し、造林OJT研修を行う経費に対する助成) 事業費：1,620千円（うち譲与税充当額810千円）</p>			

令和3年度森林環境譲与税を財源とした取組

(単位：千円)

事業名	8. 日田材普及啓発事業	当初予算額（譲与税充当額）	5,960
<p>【事業内容】 木材流通の開拓や海外出荷の取組を進めるとともに 県及び県下市町で組織する「おおいた材利用促進協議会」が行う「おおいた材販売拠点の確保対策事業」へ負担金を搬出する。また、製材所や木材市場の労働環境整備を促進する。</p> <p>①日田材出荷対策事業（海外販路開拓費助成） 事業内容：米国において日田材(大径材製品等)の認知度向上や販路拡大に向けた販売拠点設置・広報活動に支援を行う。 事業費：5,520千円（うち譲与税充当額1,840千円）</p> <p>②おおいた材利用促進協議会負担金（会員：大分県、県下17市町） 事業内容：おおいた材販売拠点の確保対策事業など、大消費地（埼玉、愛知、北九州、福岡）における拡販拠点確保対策。 事業費：1,120千円</p> <p>③製材業等労働環境改善対策事業 事業内容：製材所や木材市場の労働環境の改善（スポットクーラー、空調服などの導入）に対し支援。 事業費：3,500千円（うち譲与税充当額3,000千円）</p>			

(単位：千円)

事業名	9. 木の香るまちづくり事業	当初予算額（譲与税充当額）	3,740																																										
<p>【事業内容】 不特定多数の方の目に触れる場所での日田材のPRを行うため、市内外における店舗および病院・公共交通機関・銀行等の公共的施設や東屋・防護柵・ベンチ等の工作物などの木質化に対する支援を行うもの。</p> <p>事業費：</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">新築</td> <td style="width: 10%;">2件</td> <td style="width: 10%;">700千円</td> <td style="width: 10%;">(上限35万円)</td> <td style="width: 10%;">(1/2補助)</td> <td style="width: 10%;">見付面積</td> <td style="width: 10%;">15㎡以上</td> </tr> <tr> <td>リフォーム</td> <td>8件</td> <td>2,400千円</td> <td>(上限30万円)</td> <td>(1/2補助)</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>公共的施設</td> <td>1件</td> <td>500千円</td> <td>(上限50万円)</td> <td>(2/3補助)</td> <td>〃</td> <td>30㎡以上</td> </tr> <tr> <td>工作物等</td> <td>1件</td> <td>100千円</td> <td>(上限10万円)</td> <td>(2/3補助)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12件</td> <td>3,700千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td></td> <td>40千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				新築	2件	700千円	(上限35万円)	(1/2補助)	見付面積	15㎡以上	リフォーム	8件	2,400千円	(上限30万円)	(1/2補助)	〃	〃	公共的施設	1件	500千円	(上限50万円)	(2/3補助)	〃	30㎡以上	工作物等	1件	100千円	(上限10万円)	(2/3補助)			合計	12件	3,700千円					消耗品費		40千円				
新築	2件	700千円	(上限35万円)	(1/2補助)	見付面積	15㎡以上																																							
リフォーム	8件	2,400千円	(上限30万円)	(1/2補助)	〃	〃																																							
公共的施設	1件	500千円	(上限50万円)	(2/3補助)	〃	30㎡以上																																							
工作物等	1件	100千円	(上限10万円)	(2/3補助)																																									
合計	12件	3,700千円																																											
消耗品費		40千円																																											

令和3年度森林環境譲与税を財源とした取組

(単位：千円)

事業名	10. 市民参加の森づくり事業	当初予算額（譲与税充当額）	639
<p>【事業内容】 植林や枝打ち作業などを行う市民参加の森づくり大会等の森づくり体験等を通じて、「土砂災害の防止」、「水源の涵養」、「地球温暖化の緩和」などの森林の有する公益的機能を守り育てていく機運を高め、森林への愛着と理解を深める。また、市民をはじめ筑後川流域圏の方々等との交流・親睦を深め、水源保全の大切さを学ぶ機会等を創出する。</p> <p>○市民参加の森づくり大会（植樹祭） 【会場】萩尾市有林 【実施時期】11月中旬予定 【参加対象】日田市民、筑後川下流域住民（参加見込み250人） 【実施内容】植樹、高性能林業機械等普及啓発</p>			

(単位：千円)

事業名	11. 木育推進事業	当初予算額（譲与税充当額）	2,874
<p>【事業内容】 子どもとの思い出を大切に保管するための木製の箱（木念品）を作成し配布することで、家庭での木と触れる場を創造するとともに、木の温かみや肌触りを実感してもらえ、木育の推進と合わせて日田材の普及啓発を図る。</p> <p>事業費：木製の箱（木念品）等の製作委託 500箱 2,838千円 木育冊子印刷製本費 600部 36千円 合計 2,874千円</p>			

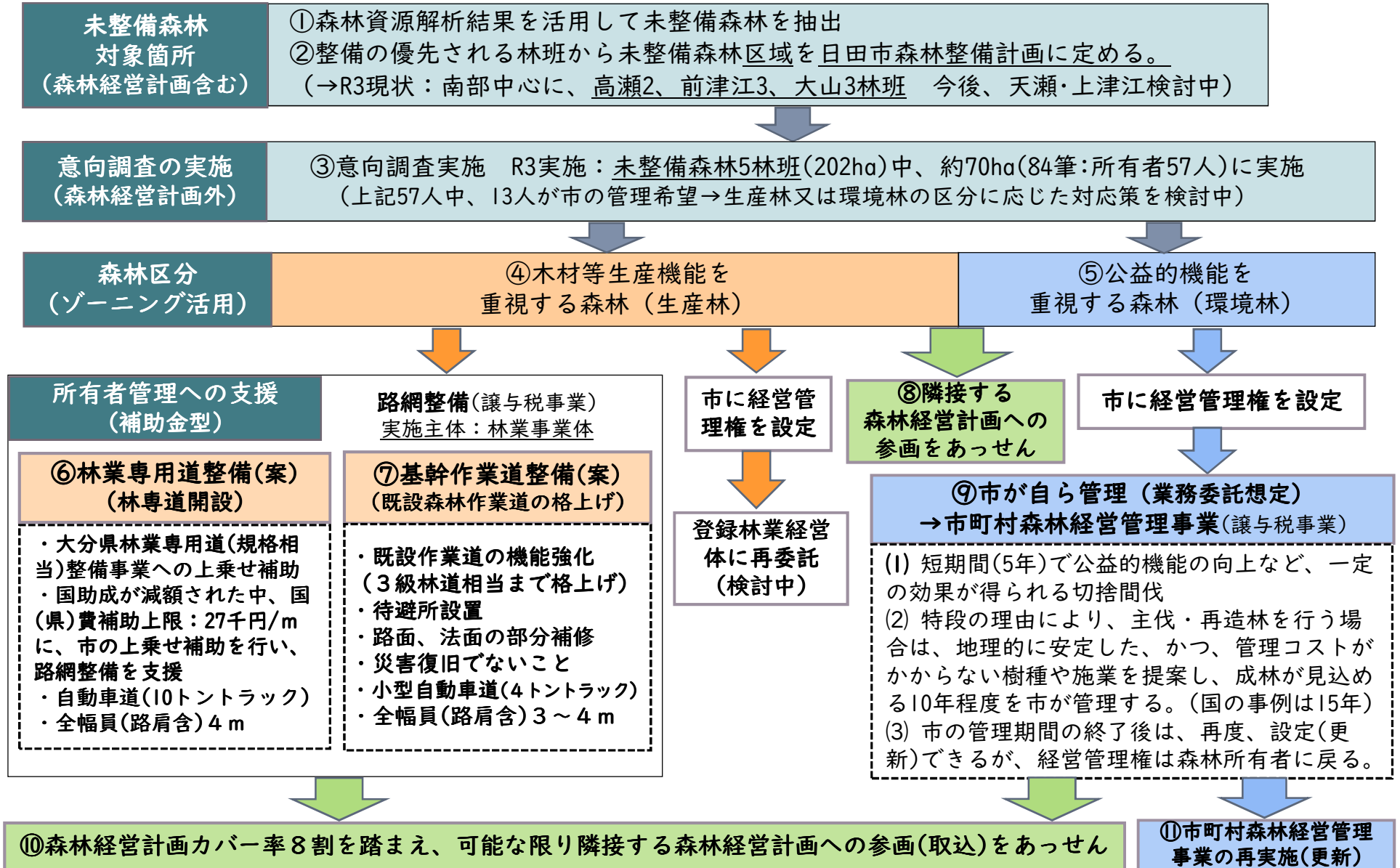
(単位：千円)

事業名	12. 森林・林業・木材産業に関する市民参加イベント・講座	当初予算額（譲与税充当額）	2,000
<p>【事業内容】 ①基幹産業である林業・木材産業を広くPRするため、「日田の木と暮らしのフェア」を開催。12月実施予定 ②市民に対し森林・林業・木材産業に関する普及啓発等を目的に、関連する講座・体験学習等を実施。年3回程度予定</p>			

森林経営管理制度の進め方について

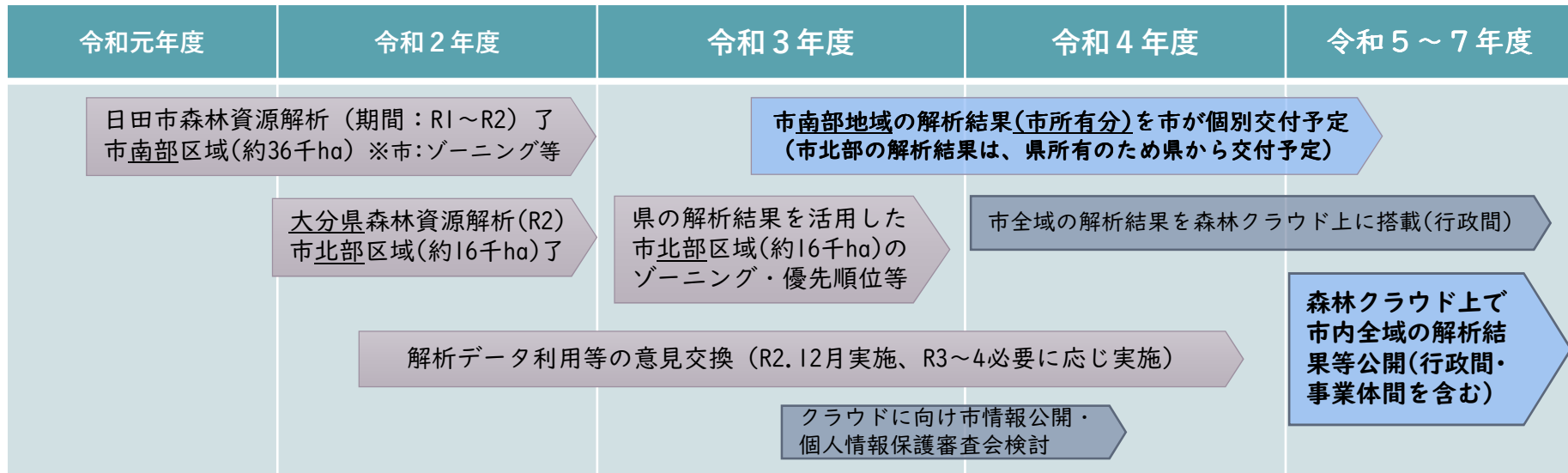
未整備森林解消のための森林整備

【資源解析:基礎資料】 林業経営に適する・適さない森林を判断するためのゾーニングや意向調査(森林整備)の優先順位付け



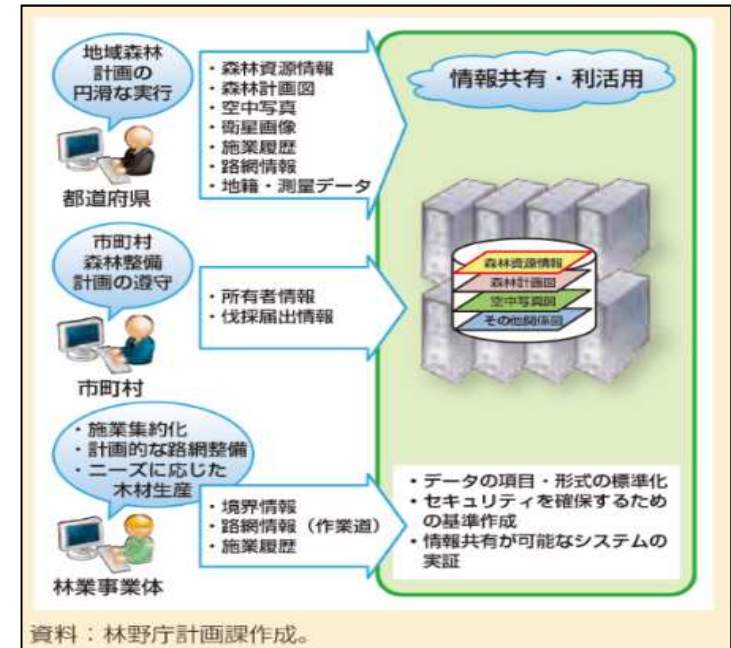
森林資源解析データ活用について（案）

➤ 1、解析データの活用に向けて(ロードマップ)



森林クラウドとは、これまで都道府県、市町村、森林組合等林業事業者が管理していた森林情報を、従来のように個々のパソコン等にデータやシステムを格納するのではなく、これらを1か所に集約・管理し、利用者がインターネット等を経由してデータやシステムを活用できるシステム。利用者や情報項目毎にアクセス権を設定。

（森林クラウドのイメージ）



解析データと個人情報の取扱（留意事項）

⑤個人情報を含む森林情報の第三者提供を行う根拠：森林法（抜粋）、日田市個人情報保護条例など

(1)（農林水産大臣等の援助）森林法第191条第2項 市町村は森林の経営の受託又は委託に必要な情報の提供、助言又は、あっせんを行うとともに、市町村森林整備計画の達成並びに森林経営計画の作成及びその達成のために必要な助言、指導その他の援助を行うように努めるものとする。

(2)（施業の集約化等の事業の推進）森林法第191条の5 国及び地方公共団体は、効率的な森林の経営を可能とするためには森林の施業の集約化等の事業の推進が重要であることに鑑み、これらの事業を担うことができる森林組合等の主体の育成、当該事業への支援その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

➡ **根拠法等に基づき、下線の森林経営計画の作成等に関するものだけに個人情報を含め、解析成果を提供できるかを引き続き検討していく。**

1、森林整備

P3:No3

- ① 風倒木被害軽減対策事業（防災拠点周辺の(現行)森林機能強化対策事業の拡充）
・九州電力と連携した送電線沿いの危険木・支障木の事前伐採
- ② 流域防災機能強化対策事業（現行:流木被害緊急対策事業の拡充）
・河川、溪流沿いに加え、尾根、急傾斜地の人工林を対象に、自然植生の回復、広葉樹林化等の森林整備（対象地を従来の市北部地域に加え、南部も追加）
- ③ 森林路網整備補助の拡充（3級林道規格相当の基幹作業道の整備補助） P2:No1④

2、人材育成・担い手確保

- ① 再造林担い手確保支援事業の実施主体の拡充
- ② 労働安全装備品への助成拡充（補助単価見直し）

P5:No7

3、木材利用の促進

- ・小中学校への新たな木製の学校机・椅子の導入（更新）検討

4、普及啓発活動

- ・市内の林業・木材産業等を観光資源とした、山と木と水の産業観光「ひたりずむ」の支援